

エンドポイント情報保護ソリューション

Micro Focus Connected Backup

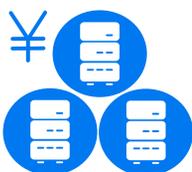


企業PCのデータバックアップを全自動で実現！

多数のPCを運用する上で、PCライフサイクルで必ず発生するデータ消失やデータ移行に対応するためのデータ保護の仕組みは重要な検討課題です。

Connected Backupは、クライアントPCのデータ保護における様々な課題点をすべて解決できるベスト&ロングセラーソリューションです。

ファイルサーバーに大事なデータをコピーしてもらう運用の課題



- 忙しい人ほど、バックアップされておらず、いざという時 **復元できない**
- 個人の意識や環境の違いによってファイルサーバー **利用に偏り**が生じ **増え続けるH/W**
- ファイルサーバーは **ランサムウェア被害**を被る可能性あり

“個人が意識しなくても全自動で効率よくバックアップするソリューションが必要”

Windows 7 ⇒ 10へのバージョンアップ時のユーザーデータ移行の課題



- 古PC/VDI/HDI • Windows OSバージョンアップ時には、新OSがクリーンインストールされた **新マシン(PC/VDI/HDI)**へ **リプレイス**されるのが一般的
- 新マシンへのリプレイスによって、**ユーザーデータ移行の支援**に膨大なIT工数が生じる

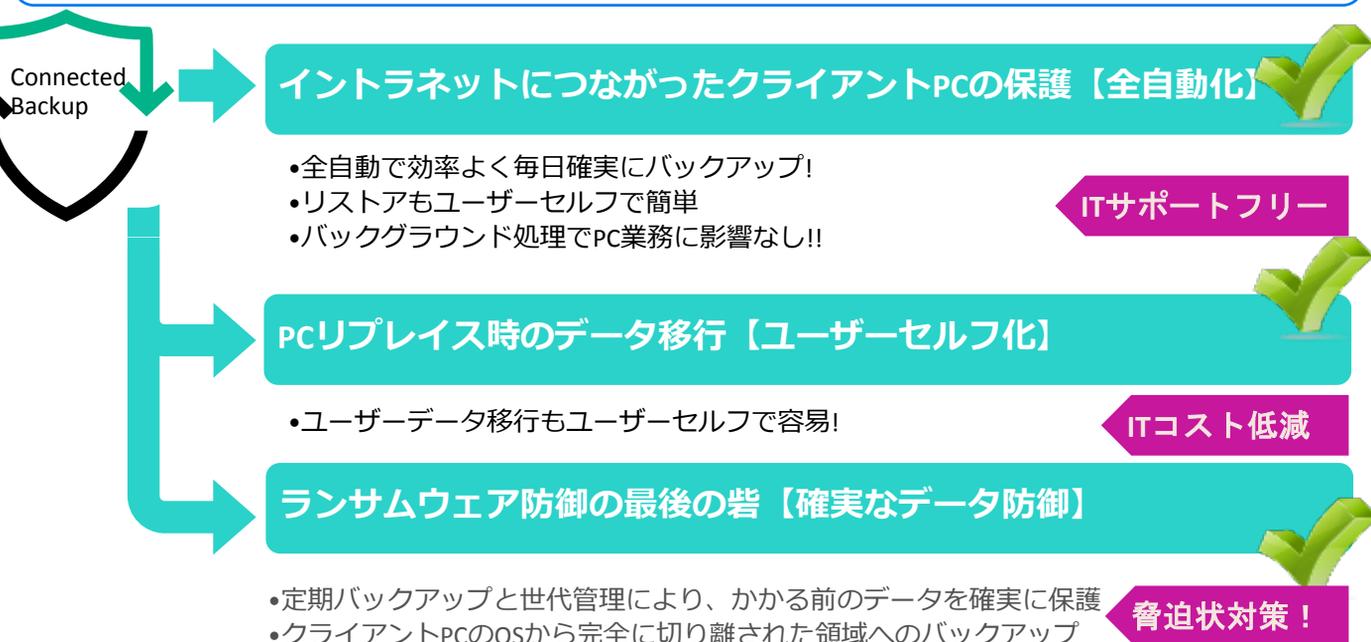
“ユーザーセルフで安全にデータ移行する方法を提供したい”

ランサムウェアの脅威

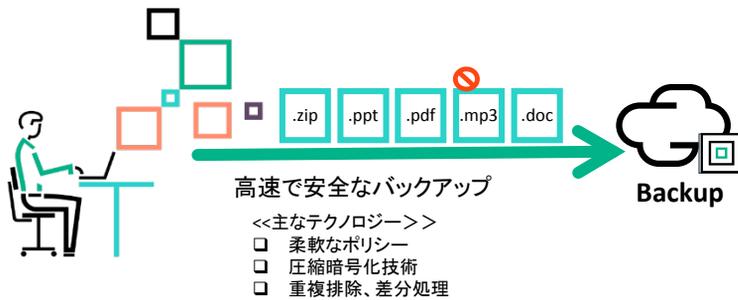


- たった3カ月で **約221億円**損失
- ランサムウェアのパーツは巨大なブラックマーケットで売り買いされ **簡単に作られる**
- 最近では **法人組織も標的に**

“最後の砦はPCデータの定期バックアップと世代管理”



本ソリューションの特長



バックアップの際に平均85%データを大幅削減

数十万ユーザー規模に対応できる拡張性(Mac/Win混在可)

全社で統一されたルール (強制的なバックアップ)

ヘルプデスクへの負荷を軽減、ITサービスの質を向上

PCバックアップがランサム対策の最終防壁である理由

JPCERTの推奨より

・ランサムウェアに感染しファイルが暗号化された場合、ファイルを復号することが難しいため、バックアップを定期的に行うことを推奨します。また、バックアップから正常に復元できることも確認してください。

・ランサムウェアに感染した場合、感染端末からアクセスできるファイル全てが暗号化される可能性があります。そのためバックアップデータは、物理・ネットワーク共に切り離されたストレージなどに保管しておくことをおすすめします。また、バックアップデータを保管してあるストレージは、復元時のみ社内環境に接続することを推奨します。

** 更新: 2017年 5月17日 追記 **

・なお、ランサムウェアに感染したファイルを含むバックアップを、感染していないバックアップに上書きしないよう、バックアップの世代管理にもご注意ください。

世代管理して感染直前のデータに復元できることが重要！

その他の課題解決例

イントラネットにつながったクライアントPCの保護

- ファイルサーバーの容量削減
- メールボックスのデータ保護
- シンククライアントのデータ保護
- データ復旧費用の削減
- 社内ヘルプデスクの負担削減
- ディザスタリカバリ

PCリプレイス時のデータ移行

- PCデータ移行の簡素化

訴訟ホールド対応のコストとリスク

- 情報漏洩対策

詳しい情報はこちら

<https://software.microfocus.com/ja-jp/software/computer-pc-backup>